

鹿市医狂壇



543 樋口 一風 選

兼題「動悸つ（とためつ）」

天

上町支部 吉野なでしこ
若け時と違（た）動悸き葉ゆ飲ん

(唱) 其頃ら恋でこん頃ら心臓

(評) 若い頃の「ときめき」は喜びや心配などの強い感情のために、胸がドキドキしました。でも歳を取ると胸の動悸は心臓に由来するものが多いのです。

葉の必要な動悸には気を付けてください。病気ではない「動悸」ならまだお若いということかも知れません。釈迦に説法でした。

地

紫南支部 二軒茶屋電停
ときめつか動悸つじやいか判らん爺

(唱) 痛てなかつ時な心配や無かが

(評) 「ときめき」は、喜びや強い感情のためドキドキすることだが、「ときめき」と動悸つは同じ意味だが、鹿児島弁で聞くとニュアンスが違うような気がします。歳を取ると、心臓の病気の動悸か、良いことがあって心が躍っているのか、よく分からなくなつたというところらしい。歳を取つても時々ときめいてみたいものです。

人

紫南支部 加治屋犬好
走い前胸が動悸つ運動会

(唱) 精一杯走れば後尾でん良かが

(評) 足の速い人にはわからないと思いますが、足が遅いと、運動会などなければいいのに毎年思うものでした。特に、徒競走は走る前から胸がドキドキして嫌なものでした。一生懸命走ればビリでも構わないと思つて走ればよかつたのにと、今になつて思います。

秀逸

伊敷支部 谷山五郎猫
動悸つた古希を過ぎれば命取

(唱) 良か医者様い診てもろもんそ

上町支部 吉野なでしこ
認知症が怖じち動悸つ検査前

(唱) 正常じゃつで心配や無かが

紫南支部 加治屋犬好
初めつて胸が動悸めた学会発表会

(唱) 掌れ人ち字を書け舐めつ

上町支部 吉野なでしこ
ひつ転ろだ娘い動悸た顔ん腫れ

(唱) 名医が居つで心配や無かが

薩摩狂句鑑賞 182

三條風雲児著 から
薩摩狂句暦 (平成元年五月一日発行)

増田 金時計
不合格き大器か馬鹿か平然しつ

今日は公立高校入試の発表の日、小躍りして喜ぶもの、失望に打ちひしがれるもの、悲喜明暗に分かれることであろう。

運悪くパスできなかった子は、「勉強しないからだ」と責めたり、「何某は何校に合格したの」と友達と比較したり、「近所に恥ずかしいじゃないの」と親の面子など囚われないで、励ましてやってほしいもの。

いわんや、不合格をメソメソしないような子は、大器かも知れないのである。

加治佐 谷山犬
彼岸団子重箱ん蓋を持つ上げつ

春の彼岸には、嶽参い(たけめい)をするところや、山や海岸に出かける地方もある。また、重箱に料理を詰めてお参りをしたり、子供の無事な成長を祈つて、神社やお寺に物参い(ものめい)をするところもあるようである。

彼岸団子と言つても、餅を搗くところもあるし、米の粉で作つた団子、麦の団子など色々あるが、それを持つて実家を訪れたり、墓参りをしたりする。

重箱の蓋が持ち上がるほど詰めていくあたり、田舎の純朴さがよく出ている。

薩摩狂句誌「洪柿」八四七号雑吟から
(令和七年二月一日発行)

西之園 ひらら
良か縁談じやろごちやいばつ乗ちやこじ

(唱) 娘たちすれば面倒か話

内野 茶柱
物価高け焼酎あ女房かあ支給いなつ

(唱) 機嫌が悪い時か薄しとを一杯

福園 放電
女房あ寄合二杯目ん焼酎を笑ろつ飲ん

(唱) 叱つ奴が居らじ楽し晩酌

上田 喜八郎
女房ん目を見たや言訳が喉で詰まつ

(唱) 俺が嘘どま見透かそそな目

西牧 一竜
会議をば掻じいたくつひん婦つ

(唱) 火をつけた議が止めくやつかじ

大廻 もくれん
リメイクん着物な亡母ん匂を着つ

(唱) 袖を通せばほんのいと母

太田 太陽
阪神ファンが券ぬ間違つ巨人席

(唱) 六甲風す心で歌とつ

狂句募集

◎5号 題吟「毛虫(ほじよ)」

締切 令和7年4月7日(月)

◎6号 題吟「昼寝(ひんね)」

締切 令和7年5月7日(水)

◇選者 樋口 一風

◇漢字のわからない時は、カナで書いてご応募ください。選者が適宜漢字をあてさせていただきます。

◇応募先 千八九二一〇八四六
鹿児島市加治屋町三番一〇号
鹿児島市医師会「鹿児島市医報」編集係
TEL 〇九九一二二六〇三七三七
FAX 〇九九一二二五〇九〇九九
E-mail: ihou@city.kagoshima.ned.or.jp